

別紙様式

「児童生徒、もしくは教職員のコミュニケーション能力の育成・向上」に関する実践事例

学校名	下関市立向井小学校
テーマ	お互いの気持ちを伝え合う力を育む ～豊かな人間関係づくりの推進～
対象者（学年）	全学年
実施場所	校内（全校、各学年、各学級単位）
<p>内容（具体的な取組）</p> <p>(1) ねらいと展開</p> <p>人間関係づくり実践プロジェクト（3年次） ※いじめ未然防止に向けた社会性育成事業（1年次）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人間関係をより豊かなものに発展させ、児童同士の信頼関係を基盤とする集団づくり ○AFPYを中心とした人間関係づくりの理論と実践の教職員研修 <p>教育相談体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育相談による「人間関係づくり」の支援 ○教師と児童、教師と保護者とのよりよい人間関係や信頼関係の確立 ○教育相談室「ふれあいルーム」の運営 <p>(2) 実践の工夫</p> <p>児童への実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各集団での「人間関係づくり」でアクティビティ（AFPY）等の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・学期始めの学級づくりでの実践 ・学級、学年活動での「仲間づくり」 ・休み時間のグループ遊びのきっかけづくり（学級集会） ・学級から学年、全校への活動を広げる実践（縦割り班活動、児童集会、児童朝会） <p>教育相談の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○問題の早期発見・早期対応のための対策 <ul style="list-style-type: none"> ・「悩みアンケート」の実施（学期に1回）※2学期は全員面談 ・「児童評価」の実施（学期末）※学習面、生活面 ・「Q-U」（楽しい学校生活を送るためのアンケート）の実施（年2回全児童で実施） <p>(3) 成果及び課題</p> <p>成果○いろいろな実践を通して「伝え合う」人間関係づくりが進んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「AFPY」等の考え方が体験や実践していくなかで広まっている。 ○「Q-U」のデータを教師同士で分析し、人間関係づくりの実践に生かしている。 ○教育相談での個人面談実施で全児童との相談（会話）を行っている。 ○児童評価の実施で、学習や学校生活について各児童の思いや願いを把握し、それらをデータベース化して全職員で共通理解して、今後の指導に生かしている。 <p>課題●継続して研修や実践をしていくことが必要である。（研修計画等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●客観的資料として「Q-U」の理論、解釈とその対応についての研究をさらに進めていく必要がある。 ●中学校やスクールカウンセラーとの連携や情報交換の場を計画的に設定していく必要がある。 ●常に「人間関係づくり」のあり方や実践について、周囲（保護者や地域、関係機関）からの情報や意見を収集して、児童にとってよりよい教育環境を構築していくことが必要である。 	
参考資料等	「AFPY入門」 「学級づくりのためのQ-U入門」
学校ホームページアドレス	mukai-shou@edu. city. shimonoseki. yamaguchi. jp (e-mail)